

家電販売と工事が双璧

頑張る地域店

シママラデンキ

近隣の高齢者顧客が大切 父の代から64年、地元で密着

顧客の相談に乗る

シママラデンキ(向島村電機商会)は、文京区白山の千川通り沿いにある。創業は1955年(昭和30年)。現在、代表取締役を務めている島村昭彦氏の父から64年間、日立のチェーンストールとして、顧客の相談に乗る地元密着の店を標榜してきた。



島村昭彦代表取締役



地元密着、シママラデンキ



創業時のシママラデンキ



店頭の人形に見入る親子連れ



奥様の手書きPOPが人気



特殊なヒューズが沢山



資格は何でも取る

周辺は、静かな住宅街にすぎない。白山周辺には、かつてから中小の製本屋がいくつもあり、同店の創業時には千川通り商店会として、小さな商店が何十件もあった。小石川植物園が、すぐ近くにあり、桜並木もきれいで、お花見時には大勢の人で賑わうという。

2代目の昭彦氏

島村昭彦代表取締役は、2010年(平成22年)に代表取締役就任、1年後に父が亡くなった。「父は亡くなる直前まで、古くからのお客様の電球交換や、コンセントの修理などで、バイクにまたがって喜んで何っていた」とのこと。

特注品が充実!

同店の売場は、当初から商品の取り扱おうようになった。テレビは、日立がアラスマを最初に発売して動きも良かったが、現在は他社ブランドなので、当店でシャープやパナソニックを売っている。

地元で溶け込む

同店の登録顧客は5000件以上もあり、その内、DMやチラシを打つ稼働もしている。

生き残りを懸ける

505に同店は、東京都電機商業組合加盟店であり、



久しぶりにDMを打った

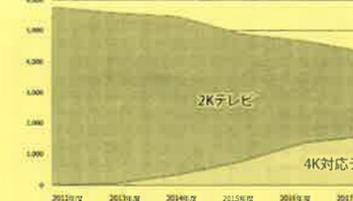
〈新4K8K衛星放送〉

買替需要を掘り起こそう!

各社、新商品を続々投入

18年12月1日の新4K8K衛星放送開始以来、すでに半年が経過した。この間、各社から4Kチューナーや4Kテレビが発売され、テレビ市場への期待値は高まってきている。

一方、放送サービス高度化推進協会(A-PAB)では毎月、新4K8K衛星放送の視聴可能機器出荷台数を発表しているが、本年4月末までの新チューナー内蔵テレビの累計は、49万台と3万台となった。外付け新チューナーは累計20万台、新チューナー内蔵のS-TBは、累計25万台と



過去に「500万台以上の4K(対応)テレビが売れた」と言われている割には、対応チューナーの動きが鈍い。

地域家電店の中には、「4K対応テレビを、今までに約100万台ほど売ったので、4Kチューナーをそびが登壇した

「4K対応テレビを、今までに約100万台ほど売ったので、4Kチューナーをそびが登壇した

「スポーツ番組は、以前とは違って買い替えには繋がらない」との見方もあるが、「オリンピックイヤー前には、テレビは必ず動

「4K対応テレビを、今までに約100万台ほど売ったので、4Kチューナーをそびが登壇した

「4K対応テレビを、今までに約100万台ほど売ったので、4Kチューナーをそびが登壇した